

松山市男女共同参画事業実施計画  
令和2年度 実績報告(詳細版)

令和3年11月

市民部 市民生活課



<目次>

通番	事業名	担当課	分類
1	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	主要課題1 男女の人権の尊重
2	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	人事課・市民生活課	
3	若年層に対するデートDV等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	
4	DV等に関する学習会の実施	男女共同参画推進センター	
5	DV等に関する相談の実施	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
6	DV等に対応する相談員の資質の向上	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
7	苦情の適切かつ迅速な処理	市民生活課	
8	DV被害者支援庁内連絡会議の運営	子育て支援課	
9	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用	子育て支援課	
10	関係機関との連携	子育て支援課	
11	地域におけるDV等被害者の早期発見	市民生活課	
12	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理	健康づくり推進課	
13 (27)	自殺予防対策	保健予防課	
14	女性のための相談	男女共同参画推進センター	
15 (26)	男性のための相談	男女共同参画推進センター	
16	保護者等を対象とした講演会等	健康づくり推進課・保健予防課・保健体育課	
17	エイズ等特定感染症対策事業	保健予防課	
18	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業	健康づくり推進課	
19	ネットトラブルから子どもを守る取り組み	市民生活課	
20	男女共同参画の視点からの公的広報の実施	市民生活課	
21	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
22	男女共同参画に関する情報の収集及び提供	男女共同参画推進センター	
23	人権啓発推進員の養成	人権啓発課	
24	男女共同参画に関する各種実態調査	男女共同参画推進センター	
25 (44)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座	男女共同参画推進センター	主要課題2 社会制度・慣行の見直し
26 (15)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
27 (13)	自殺予防対策【再掲】	保健予防課	
28 (63)	国際性豊かな人づくり	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
29	平和への取り組み	市民生活課	
30	女性登用率の向上促進	市民生活課	主要課題3 方針決定過程への女性の参画拡大
31	男女共同参画に関する研修制度の充実	人事課	
32	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進	人事課	
33	インターンシップ及び市役所業務説明会等	人事課	
34	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画	人事課	
35	女性の活躍推進(ジョカツ)	市民生活課・男女共同参画推進センター	
36	人材育成に関する講座	男女共同参画推進センター	
37	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(消費生活モニター)	市民相談課	
38 (76)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)	地域消防推進課	
39 (90)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供	男女共同参画推進センター	
40	地域における男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
41	まつやま農業者セミナー	農業委員会事務局	
42	地域のまちづくりへの女性参画促進	まちづくり推進課	
43	市民活動団体等に対する支援・連携促進	まちづくり推進課	

通番	事業名	担当課	分類
44 (25)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター	主要課題4 仕事と生活の調和
45	男女雇用機会均等法の周知・啓発	地域経済課	
46	企業内人権教育担当者研修講座	人権啓発課	
47	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)	男女共同参画推進センター	
48	「まどんな応援企業宣言」認証制度	男女共同参画推進センター	
49	まどんな応援企業の周知啓発	男女共同参画推進センター	
50	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)	男女共同参画推進センター	
51	メンターの育成	市民生活課	
52 (82)	若者のライフデザイン支援事業	男女共同参画推進センター	
53	家族経営協定の推進	農業委員会事務局	
54	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金	農林水産課(農業指導センター)	
55	次世代農業者サポート事業	農林水産課	
56	松山市人材育成事業補助金事業	地域経済課	
57	女性の起業支援	地域経済課	
58	松山市テレワーク在宅就労の促進	地域経済課	
59	女性の再就職支援	地域経済課	
60	高齢者雇用対策事業	地域経済課	
61	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理	高齢福祉課	
62	「松山市障害福祉計画」の進捗管理	障がい福祉課	
63 (28)	国際性豊かな人づくり【再掲】	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
64	市民からの各種相談への対応	市民生活課	
65	若者の正社員化及び就職訓練	地域経済課	
66	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理	子育て支援課	
67	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理	保育・幼稚園課・子育て支援課	
68	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】	男女共同参画推進センター・子育て支援課	
69	子育てに関する情報の発信	子育て支援課	
70	子育て家庭の送迎等支援	子育て支援課	
71	ファミリー・サポート・センター(介護)	高齢福祉課	
72	介護予防と認知症サポーターの養成	介護保険課	
73	対策本部運営事業	危機管理課	
74	自主防災組織育成事業	危機管理課	
75	松山のひととまちを守る！防災士養成事業	危機管理課	
76 (38)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】	地域消防推進課	
77	松山市地域防災計画の進捗管理	危機管理課	
78	啓発推進事業	危機管理課	
79	みんなの消防フェスタ開催事業	地域消防推進課	
80	災害用物資資機材整備事業	危機管理課	
81	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発	人権啓発課	主要課題6 教育分野での男女共同参画
82 (52)	若者のライフデザイン支援事業(再掲)	男女共同参画推進センター	
83	地区人権教育の推進	人権啓発課	
84	人権教育研究会の開催	人権啓発課	
85	人権啓発フェスティバルの開催	人権啓発課	
86	キャリア教育の支援	男女共同参画推進センター	
87	子どもから広がるいじめ0ミーティング	学校教育課	
88	元気活力支援事業	地域学習振興課	
89	男女共同参画に関する出張講座の開催	男女共同参画推進センター	
90 (39)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】	男女共同参画推進センター	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	1
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、DV(ドメスティック・バイオレンス)・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。特に11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には、シンボルカラーであるパープルのリボン運動等を実施する。			
数値目標	啓発人数(累計)3,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	「女性に対する暴力をなくす」運動期間に合わせてコムズロビーにDVに関する各種情報を掲示したほか、パープルツリーを作成し、来館者の方にパープルリボンを貼ってもらい完成する形とした。協力してくれた方には、パープル小物やボールペンの無料配布をするなど、参加しやすいよう配慮し、意識啓発に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2,000人		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	例年であれば大学でも期間中にデートDVの啓発を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で出入りが難しく、実施できなかった。若年層への啓発は重要と考えているため、今後はコロナ禍であっても効果的な啓発が実施できるよう検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	パープルツリーは、期間が終わるまでに無事完成し、多くの方にご参加いただくことができたため、啓発に一定の効果があったと思われる。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	2
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発			
担当	人事課・市民生活課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。随時、イントラネットを通じた情報発信や庁内放送を通じた周知啓発を実施する。			
数値目標	周知回数2回以上／年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	毎月、全庁発信している「コンプライアンス通信」(人事課)「安全衛生だより」(職員厚生課)で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を毎月継続して周知するとともに、「コンプライアンス通信」(R2年6月号)及び「安全衛生だより」(R3年3月号)ではセクシュアルハラスメントの防止をテーマに取り上げ、周知啓発を行った。 また、各種研修会で周知を行い、職員のセクシュアルハラスメント防止に関する意識の向上に努めた(R2年7月実施 採用2年目職員研修、R2年8月実施 新規採用職員フォローアップ研修・職場のメンタルヘルス研修)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	12回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保のため、今後も職員への周知啓発を継続する必要がある。
-------	---

5. 成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができた。また、各種研修会で、参加職員に対し、より具体的な内容を伝える機会を設けたことで、効果的な周知啓発が実施できた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	3
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	若年層に対するデートDV等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	愛媛県、大学生ボランティアグループ、大学等と連携し、若年層に対するデートDV防止に向けた周知啓発活動を行う。被害者の多くは女性であることから、特に、11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には市内大学等において、広報活動を行う。			
数値目標	啓発人数(累計)300人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、大学に出向いての周知活動は中止としたが、松山東雲女子大学・短期大学で啓発用のポケットティッシュの配布にご協力いただいた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	300人		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	例年は、みきゃんやはっぴーカバーくんの着ぐるみを着て、大学生に直接啓発グッズを手渡す活動を行っており、その場で反応なども確認できていたが、今年度はそれができなかった。コロナ禍での効果的な周知方法を検討していく必要がある。
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する学習会の実施			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	深刻な人権侵害であり、社会問題となっているDVの問題解決にむけた学習会を実施し支援を行う。			
数値目標	参加人数40人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	愛媛県男女共同参画センターとの共催事業として、「誰もが生きやすい社会をめざすために」と題して講演会を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	一般参加:30人	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの終息が見通せない中で、どのような形式で事業を実施するか、引き続き検討が必要である。
-------	---

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は県センターメインの事業であったが、協力して実施することができた。</li> <li>新型コロナウイルスへの感染が再拡大する中でも、感染対策に努めることで、当日欠席者はいたものの、目標に近い参加者を集めることができた。</li> </ul>
-------	--



主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する相談の実施			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。			
数値目標	周知回数1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	相談機関に関する情報を、チラシやパンフレット、ホームページへの掲載等で広く周知した。 また、コムズにおいて「女性に対する暴力をなくす」運動期間内(11月12日～25日)に、来所者参加型のパズリボンの作成、啓発グッズの配布、女性の人権に関する映画の上映会を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	コムズでの啓発イベントについて、参加者の8割が女性であった。DV防止啓発は男女双方に行うことが重要である。今後は男性も参加しやすいイベントとなるよう見直す必要がある。
-------	---

5. 成果	コムズでの啓発イベントについて、パズリボンの作成に約80名、映画上映会に100名が参加した。参加者へDVや「女性に対する暴力をなくす」運動期間について周知することができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に対応する相談員の資質の向上			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	相談内容に適した対応を迅速且つ的確に実施するため、本市において対応する婦人相談員の専門知識と相談対応能力の向上に取り組む。			
数値目標	研修参加1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	全国婦人相談員・心理判定員研究協議会の研修が、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となり、婦人相談員3名が参加した。 また、11月30日に婦人相談員等研修会に婦人相談員1名が参加した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今年度コロナの影響により、開催方法の変更があった。今後は研修方法を検討し、資質低下にならないよう努める必要がある。
-------	---

5. 成果	参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	7
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	苦情の適切かつ迅速な処理			
担当	市民生活課			
事業概要	関係機関に寄せられた苦情等について、誠実に受け止め、適切かつ迅速に処理する。また、各課が窓口となっている苦情の受付では、より良い対応を行うため内閣府が発行しているガイドブックを活用する。			
数値目標	—			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	内閣府が発行しているガイドブックで、他市事例などを研究した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—	—	点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	学習する機会が、ガイドブックしかないため、今後オンライン学習などがあれば積極的に取り入れていきたい。
-------	--

5. 成果	男女共同参画の施策を進めていく中で、どういったことが問題になるのかについて具体例を交えて理解することができた。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	8
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援庁内連絡会議の運営			
担当	子育て支援課			
事業概要	関係課で構成するDV被害者支援庁内連絡会において、被害者情報を速やかに共有する。また、支援の重要性を徹底し、支援方法や注意事項などについての情報を共有するとともに、職員の意識向上を図るために研修の機会を設ける。			
数値目標	研修開催1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	8月25日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会に、課内から1名が出席した。また、1月17日にDV被害者庁内研修会を開催し、関係22所属課から28名が参加した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	庁内担当者に対し、DV支援に関する基本的な内容の研修を毎年実施しているが、スキルアップした内容も検討することや、担当者異動に伴う引継ぎにおいても周知徹底を行う。
-------	--

5. 成果	DV被害者庁内研修会の出席者から、「講義中のロールプレイは女性から男性へのDVの事例であり、分かりやすかった。」や、「子どもがいる世帯であれば子ども関連の機関の介入が可能となるが、子どものいない世帯であれば介入機会が減り、問題発見の可能性が低くなることが予想されるため、男性被害者が相談しやすい環境をつくる必要がある。」との意見を得ることができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	9
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用			
担当	子育て支援課			
事業概要	庁内全体で迅速かつ的確なDV被害者支援に努めるため、庁内支援体制についての対応マニュアルを適宜見直す。			
数値目標	マニュアルの確認1回以上／年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	DV被害者庁内研修会にて「DV被害者支援対応マニュアル」を紹介し、担当者へ周知徹底を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		3点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	各課の担当者の変更となった際、新たな担当者に「DV被害者支援対応マニュアル」について把握してもらう必要がある。
-------	---

5. 成果	研修会の出席者から、「DV被害者対応マニュアルがあることを教えていただき、早速印刷した。」とのコメントを貰った。担当者への周知徹底ができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	10
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	関係機関との連携			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県や警察、県内市町などで構成する連絡会議での情報共有を行う。			
数値目標	連絡会議開催1回以上／年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	1月22日に、愛媛県主催の「愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会地域別ブロック担当者会(中予地区)」に出席し、情報共有を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数に制限があった。
-------	---------------------------------

5. 成果	関係機関の担当者が顔合わせをすることにより、関係性を構築することができ、円滑な連携に繋がった。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	11
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	地域におけるDV等被害者の早期発見			
担当	市民生活課			
事業概要	地区防犯協会等と連携し、市民に対し、改正DV法や改正ストーカー規制法の周知啓発、相談機関に関する情報提供を行う。また、研修会の機会を通じて、松山市防犯協会推進員等に対し、周知啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大のため、総会や研修会が全て中止となったため周知啓発ができなかった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		点
-----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--



主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	12
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	市民一人一人の生涯にわたる心と身体の健康の保持増進を目標に、市民が主体的に健康づくりに取り組むための支援や、健康づくりのための環境整備を行う。			
数値目標	参加人数6,000人/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	各事業の実施時期を延期したり、定員の削減やオンラインでの開催等に変更するなど、特に新型コロナウイルス感染拡大防止に重点を置いて実施した。 【実績】 出前健康教育 98人、ヘルスポランティア養成研修会 8人、住民参加型健康づくり事業、52人、依頼健康教育 64人、乳幼児健康教育 331人 がん予防重点健康教育 132人、市民公開講座 0人(中止)、住民組織支援 1,432人 合計 2,117人		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2,117人	2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	<p>集団教育では男性の参加が多くなってはきたものの、未だ女性の参加率が多い。健康無関心層への周知啓発を検討していく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一つの場所に多くの人を集めて実施する形式での事業は実施することが難しくなった。</p>
-------	--

5. 成果	<p>新型コロナウイルス感染症の流行期においても、生涯を通じた男女の健康支援を継続する必要があるため、オンライン形式を取り入れたり、感染症対策を徹底するなどして各事業を継続的に実施し、周知啓発することができた。</p>
-------	---



主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	13(27)	(27)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援			
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援			
事業名	自殺予防対策				
担当	保健予防課				
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(46課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。				
数値目標	担当職員数(累計)200人				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	庁内担当者会を開催し、本市の自殺の現状と自殺対策について理解を深め、各課での現状と課題について振り返り、市職員ゲートキーパーとして実践できること等についてグループワークを通して考えた。 (R2年度まで庁内担当職員数(累計):213名)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	213名		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		3点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により自殺者数の増加が懸念されるが、庁内での連携をより一層強化し、性別等に捉われない多様な意見を出し合いながら、自殺予防対策に取り組むことが必要である。
-------	---

5. 成果	担当者会終了後には、庁内各課での対応困難事例への取り組み等について共有することができ、庁内担当者としてゲートキーパーの役割や、庁内連携の必要性について考える機会となった等の声がきかれた。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	14
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	女性のための相談			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)			
数値目標	相談件数1,200件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・コロナ禍で在宅時間が増え、家族関係に変化が出てきており、それを踏まえて相談を受けるようにした。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1142人		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・頻回利用者がおり、他の相談者の電話が取れないような状況にならないような対応が必要であった。
-------	--

5. 成果	・新型コロナウイルスへの感染が続く中であったが、電話での相談が多く、概ね目標通りの相談者数を確保することができた。 ・結論が欲しいというよりも、話を聞いてほしいというものが多く、傾聴に努めることで心のつかえを取り除くようにしている。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	15(26)	(26)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援			
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援			
事業名	男性のための相談				
担当	男女共同参画推進センター				
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第4土曜日に18:30～20:30 心理相談員1名が受け付けている。				
数値目標	相談件数70件				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・コロナ禍で在宅時間が増え、家族関係に変化が出てきており、それを踏まえて相談を受けるようにした。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	71件	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点		
-----------------------	----	--	--

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・相談件数は、ほぼ横ばいであり、また、繰り返し利用されている人も一定数いるとみられる(匿名のため人数は未把握)ことから、新規の利用者の確保が近々の課題である。
-------	---

5. 成果	令和2年度実績 総相談件数:71件(面接:41件、電話:30件) 主な相談内容は、「仕事の悩み」が最も多く、ついで「夫婦関係の悩み」「人間関係の悩み」「生き方の悩み」などで、傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	16
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	健康づくり推進課・保健予防課・保健体育課			
事業概要	(1) 児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。 (2) 小中学生や保護者等を対象に、性に関する講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。 (3) 市内の中・高生を対象にエイズ予防についての正しい知識を持ち、予防及び人権的配慮ができるように支援する。			
数値目標	参加人数(1)100人(2)5,200人(3)2,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	(1) 1校、計132人を対象に、性教育やライフサイクルの中での妊孕性の変化、若年世代からのがん予防などの内容で思春期健康教育を実施した。 (2) 7校、計1,573人の生徒や教職員を対象に、こころやからだ性に関する講演会を実施したほか、全小中学校(各校1学年分)を対象に喫煙防止の授業に使用できるリーフレットを配布した。 (3) 4校、計1,080人を対象にHIV・エイズの違い、性的マイノリティ、デートDVIについての内容で講演を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	(1)132人(2)1,573人(3)1,080人	(1)5点(2)2点(3)3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	(1)4点(2)4点(3)3点
-----------------------	-----------------

		チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	(1) ✓	(2) ✓	(3) ✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	(1) ✓	(2) ✓	(3)
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	(1) ✓	(2) ✓	(3) ✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	(1) ✓	(2) ✓	(3) ✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	(1)	(2)	(3)

4. 課題	(1) 思春期健康教育の受講者が女性だけだったので、男女の健康支援としては不十分であった。男性にも受講しやすい体制を整える必要がある。 (2) 講演会については、新型コロナウイルス感染症対策により受講者数が少なかったため、感染症対策を講じた上で男女共同参画に配慮した実施方法を検討する必要がある。 (3) 新型コロナウイルス感染症対策のため対面での講義人数は少なかったが、学校と相談しインターネットを活用して各教室に配信した。
-------	---

5. 成果	(1) これからの担う対象者に性教育やライフサイクルの中での妊孕性の変化、若年世代からのがん予防などを伝えることができた。 (2) 感染症対策により受講者数が少なかったが、性に関する各種専門家による講演会を実施し、生徒や教員に対してこころやからだ、性トラブル等の知識を深めることができ、学校からも好評であった。また、喫煙防止教育を行い、男女共同参画に配慮した喫煙防止リーフレットを配付することで児童生徒や保護者に対して喫煙による健康被害について知識を深めることができた。 (3) 講義の中でデートDVIについての人形劇を行い、受講した生徒が男女それぞれの立場で考えるきっかけを提供した。受講後アンケートでも「性的マイノリティに関する正しい用語が知れた」「身近な問題だと感じた」等の感想があった。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	17
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	エイズ等特定感染症対策事業			
担当	保健予防課			
事業概要	HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査等の特定感染症検査及び相談を実施するとともに、正しい知識の普及啓発を実施。			
数値目標	検査及び相談数3,500件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度 の取組内容	HIV抗体検査238件、来所・電話相談232件、肝炎ウイルス検査約930件、風しん抗体検査約640件を実施。 HIV検査普及週間(6月1日～7日)、世界エイズデー(12月1日)にあわせて、関係機関や高校・大学・専門学校等にエイズ相談のフライヤーやエイズ・性感染症に関するリーフレットを送付。 また、世界エイズデー(12月1日)にあわせて県中予保健所・南海放送と共催でオンラインキャンペーンを実施し、クイズ正解者120名程度にマスクケース等オリジナルグッズやリーフレットを送付。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	約2,040件	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、HIV抗体検査の件数が昨年度と比較して55%程度に減少した。来年度も感染対策に気を付けて事業を実施していく。
-------	---

5. 成果	エイズ相談は匿名かつ他の来所者と顔を合わせない動線で、心配なことがあれば周りを気にせず相談できる環境にしている。パートナーが避妊してくれない等の相談を受けることもあり、避妊の大切さ、相手を尊重することもあわせて伝えている。 世界エイズデーのオンラインキャンペーンでは幅広い年代の方に対しての啓発が実施でき、関心を持ってもらうことができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	18
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-3	母子保健の充実		
事業名	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	母子の健康の保持増進及び育児支援を図るため、妊娠期・乳幼児期の遺伝・育児・栄養などに関する健康教育や健康相談、訪問指導を実施し、また、心身のつまずきのある幼児とその保護者を対象の療育指導を行うことにより発達を促し、育児不安の軽減を図る。①マタニティ相談会②パパ・ママのための教室 ③すくすく相談④モグモグ相談 ⑤発達相談 ⑥かんがる一クラブ ⑦なかよし教室 ⑧5歳児相談 ⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む)⑩松山市母子保健推進員養成講座 ⑪遺伝相談			
数値目標	参加人数16,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<p>集団開催の事業(①マタニティ相談会、②パパ・ママのための教室、⑥かんがる一クラブ、⑦なかよし教室、⑩松山市母子保健推進員養成講座)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催休止や定員削減、オンラインでの開催等に変更して実施した。個別の相談や訪問は、体調確認や感染予防策を講じながら継続して実施した。</p> <p>①マタニティ相談会20人、②パパ・ママのための教室(オンライン開催)62人、③すくすく相談4,086人、④モグモグ相談819人、⑤発達相談400人、⑥かんがる一クラブ74人、⑦なかよし教室236人、⑧5歳児相談106人、⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む)6566人、⑩松山市母子保健推進員養成講座9人</p>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	12,378人		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		3点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	生涯を通じた男女の健康支援に加え、父母で子育てするための契機づくりや、男女共同参画の意識啓発を各事業を通じて行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から、参加者の人数制限や、外出行動の制限などから、参加数がやや低めとなっており、現状ではいたしかたないと考えている。
-------	--

5. 成果	生涯を通じた男女の健康支援のために、各事業をオンライン化するなど工夫し、新型コロナ感染症流行期でも継続的に事業を実施できるよう工夫し実施した。継続的に実施することで参加者の支援につながり、成果につながると思われる。
-------	---



主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	19
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-1	情報活用能力(メディア・リテラシー)の向上支援		
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	インターネットは、手軽に情報発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年(50学級)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	NPO法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部スタッフを講師として小中学校に派遣し、小学校3年生から中学校3年生を対象に、パソコンまたはタブレット端末を使用して、LINE等のSNSを模擬的に体験できるシステムを使ってインターネットに存在する危険性や、普段生活している空間とインターネットの空間の相違点を確認しながら、安全・便利に、そして楽しく学習するためのルールやマナーについて学ぶ機会を提供した。実施学級36学級 人数1,107人		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	36学級	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	性別に捉われないように事業は実施しているが、男女共同参画に配慮できたか等までは検証できていない。
-------	--

5. 成果	「自分でSNSなどを実際に使ってみたりしたので、分かりやすくて楽しかったです。」「自分の写真を載せたらいけないのだなと思いました。こわいなと思ったら、すぐに親に言いたいなと思いました。」「クリックしてしまうといけないものがありました。個人情報も教えてはいけないのが分かりました。」など、メディアリテラシーの向上につながったという受講者の感想があった。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	20
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-2	公的広報等で男女共同参画の視点に立った表現の促進		
事業名	男女共同参画の視点からの公的広報の実施			
担当	市民生活課			
事業概要	公的広報(広報やホームページ、その他市が発行する印刷物等)においては、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められている。平成25年度に改定した「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の内容を市役所の各部局等に周知し、松山市が発信するあらゆる情報について男女共同参画に配慮した表現を推進する。また、必要に応じて適宜手引きの見直しを実施する。			
数値目標	周知回数1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	庁内に「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」をメールで周知した。また、庁内ワーキンググループ研修の際に紹介をして、積極的な利用を呼びかけた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の改定から7年以上経過するため、時代の流れに沿ったものにさらなる改定が必要である。内閣府が、公的広報に利用できるイラストを作成しているので、そういったものを取り入れていきたい。
-------	--

5. 成果	全庁に向けて、周知することで、男女共同参画の視点を意識してもらった機会となった。
-------	--



主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	21
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	コムズフェスティバルにおいて、市民グループ等が主体となり、男女共同参画に関する講演会・学習会等を市民企画分科会として実施する。分科会の企画立案や準備にあたっては、有識者やセンター職員が男女共同参画の視点からアドバイスを行うとともに、実行委員相互の交流を深める機会とする。			
数値目標	参加人数600人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大勢が集まることが出来ないため、オンラインによる基調講演など代替措置をとりつつ、開催することとした。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	基調講演150人(CATVの視聴者数は不明)		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観客を集めることが出来ず、オンラインでの講座の実施や、収録したものをCATVで放映するなど、今後のフェスティバルを様々な手法で開催できるよう検討が必要である。
-------	---

5. 成果	・急遽、オンラインやCATVでの放映に切り替えたが、最低限のことは実施することが出来た。
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	22
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	男女共同参画に関する情報の収集及び提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	図書・資料の収集や提供、情報誌「コムズ」の発行、インターネットを活用した広報活動、学習資料の作成等を行う。			
数値目標	周知回数60回以上／年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	男女共同参画の視点で書かれた図書等の貸出。情報誌の発行。HP、Facebookによる情報提供。学習資料は「～家族で、地域で、みんなで育む～共同参画子育てBOOK」を作成した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	165回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	図書コーナーの利用者は、前年度に比べて減少した。おはなし会の開催や本の紹介を行い、図書コーナーの利用者増加を図りたい。
-------	---

5. 成果	男女共同参画の視点で書かれた図書等を19分野に分類し設置している。令和2年度は5608点の貸出があった。情報誌は2月に発行し、男女共同参画についての情報提供、当財団の事業報告を行った(1回)。HPは講座開催時等、随時更新(88回)。Facebookは新たな情報が入り次第更新し(75回)、市民に最新の情報発信を行った。学習資料は「～家族で、地域で、みんなで育む～共同参画子育てBOOK」を作成し、コムズおはなし会参加者や、各関連機関等に配布した(1回)。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	23
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	人権啓発推進員の養成			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内41地区公民館等から推薦された方を「人権啓発推進員」に認定し、人権教育・啓発に関する地域のリーダーとしての資質の向上、意識の高揚を図ることにより、各地域における人権教育推進の組織整備・充実を目指すとともに、豊かな人権感覚と男女共同参画意識の拡大に努める。			
数値目標	認定者数1,000人(男性600人女性400人)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	「人権啓発推進員経験者研修」(3回)「人権啓発推進員養成講座」(4回)をレポート形式で行った。また、人権啓発推進員による地域活動を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	認定者数916人(男性565人女性351人)		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	人権啓発推進員による地域活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度より減少した。今後も、性別等に捉われず、活動が増えるよう、引き続き啓発活動を行う。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場開催からレポート形式に変更し実施した結果、前年度より受講者数は増加した。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	24
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-2	性別役割分担意識に基づく社会制度・慣行の見直し		
事業名	男女共同参画に関する各種実態調査			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画の推進のために、「男は仕事、女は家事育児」等、性別による固定的役割分担意識等の男女共同参画に関する市民の意識や、生活実態について、調査・分析を行う。分析結果は、事業展開や啓発活動の内容等を検討するための基礎資料とするとともに、市民に対し公表する。			
数値目標	—			

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の実績と取組内容	松山市内に住所のある学校(全日制)の、高校2年生と大学3年生を対象に、「デートDVに関する調査」を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—		一点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点		
-----------------------	----	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	「デートDV」の認知度は、【高校2年生】「言葉も、内容も知っている」48.1%、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」36.0%、「知らない」15.4%、無回答0.4%【大学生3年生】「言葉も、内容も知っている」71.5%、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」23.5%、「知らない」5.0%であった。特に「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」「知らない」層へ向け、今後も周知を図ってきたい。 また、交際相手からの暴力について、被害の経験や、加害の経験、見聞きした経験があるという回答が見られたことから、若年層を対象とした意識啓発の機会が必要と考えられる。
-------	---

5. 成果	松山市在住の若年層を対象とした意識・実態調査の結果を得ることができた。DV関連講座、若年層に対する講座など、今後の事業に活用していきたい。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	25	(44)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮			
実行項目	2-1-3	男性にとつての男女共同参画			
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座				
担当	男女共同参画推進センター				
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。				
数値目標	参加人数45人				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事やプライベートの充実をはかることを目的とし、3回講座「男のスキルアップ講座」を開催した。</li> <li>・女性に比べ講座に出向く企画が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう、今年度は幅広い層に沿う講座を企画した。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	51名(3回合計)	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点		
-----------------------	----	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとつても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理講座などは、単発ではなく、継続性があっても良いのではないか。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染防止の観点から、料理講座の際、調理後の試食の是非について、再考が必要。</li> </ul>		
-------	---	--	--

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が生き生きと受講しており、男性の家事参加への意識向上に寄与している。</li> <li>・目標を上回る参加者を獲得でき、コロナ禍で困難な中、想定通りの事業が実施できた。</li> </ul>		
-------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	26
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとっての男女共同参画		
事業名	男性のための相談【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第4土曜日に18:30～20:30 心理相談員1名が受け付けている。			
数値目標	相談件数70件			

## 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 心理相談員1名が相談を受付</li> <li>・コロナ禍で在宅時間が増え、家族関係に変化が出てきており、それを踏まえて対応するようにした。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	71件		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

## チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数は、ほぼ横ばいであり、また、繰り返し利用されている人も一定数いるとみられる(匿名のため人数は未把握)ことから、新規の利用者の確保が近々の課題である。</li> </ul>
-------	---

5. 成果	<p>令和2年度実績 総相談件数:71件(面接:41件、電話:30件)</p> <p>主な相談内容は、「仕事の悩み」が最も多く、ついで「夫婦関係の悩み」「人間関係の悩み」「生き方の悩み」などで、傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。</p>
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	27(13)	(13)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援			
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援			
事業名	自殺予防対策				
担当	保健予防課				
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(46課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。				
数値目標	担当職員数(累計)200人				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度 の取組内容	庁内担当者会を開催し、本市の自殺の現状と自殺対策について理解を深め、各課での現状と課題について振り返り、市職員ゲートキーパーとして実践できること等についてグループワークを通して考えた。 (R2年度まで庁内担当職員数(累計):213名)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	213名	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により自殺者数の増加が懸念されるが、庁内での連携をより一層強化し、性別等に捉われない多様な意見を出し合いながら、自殺予防対策に取り組むことが必要である。
-------	---

5. 成果	担当者会終了後には、庁内各課での対応困難事例への取り組み等について共有することができ、庁内担当者としてゲートキーパーの役割や、庁内連携の必要性について考える機会となった等の声がかかれた。
-------	---



主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	28(63)	(63)
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進			
実行項目	2-2-1	国際交流の促進			
事業名	国際性豊かな人づくり				
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)				
事業概要	<p>松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。</p> <p>※(公財)松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。</p>				
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加者数100人				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		点
----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。
-------	---



主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	29
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進		
実行項目	2-2-2	国際協調・国際理解の推進と平和への貢献		
事業名	平和への取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	「北京宣言及び行動要領」で示された「平等・開発・平和」の目標を達成するため、本市では戦争遺品を展示する「平和資料展」や、市文化財となった「掩体壕」を活用し、平和の尊さや大切さについての理解を広げていく。			
数値目標	平和資料展来場者数6,300人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<p>【平和資料展】 7月24日(金)～7月30日(木)に松山市総合コミュニティセンターにて開催。松山市が保管している戦争遺品や市民から寄贈していただいた遺品、写真やパネルを展示。また、平和ビデオを終日上映。</p> <p>【掩体壕】 平成30年5月に掩体壕が松山市指定文化財に指定され、平和学習の資料として活用していくため令和2年度に保存整備工事を実施。11月28日(土)から一般公開。</p>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2263人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	保存整備工事が完了した掩体壕を活用し、特に戦争を知らない若い世代(小中学生)に平和の尊さや大切さを伝えていく。
-------	---

5. 成果	平和資料展来場者数2,300人 コロナ禍のため、来場者数は例年より減少したが、近隣の小学校が平和学習の時間で見学を訪れる等、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代に伝えることができた。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	30
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-1	審議会等への女性の参画促進		
事業名	女性登用率の向上促進			
担当	市民生活課			
事業概要	市の施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、本市の審議会等への女性の参画を進める「女性登用計画」を策定し、計画的に登用を進める。また、様々な分野で活躍する女性を登録した「松山市女性人財情報リスト」の充実を行う。			
数値目標	女性登用率40%			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	女性登用率は43.0%となり、初めて目標を達成した。女性人財リストは、新たに12人の登録があり、合計197人となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	43%		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	松山市全体の女性登用率は目標を達成したが、個々の審議会をみると、まだ登用率が低いところもあるため、引き続き周知啓発していく必要がある。
-------	---

5. 成果	女性登用率は、各課担当者の地道な努力もあり、今年度初めて目標率が達成できた。また、女性人財リストも、様々な分野の方の推薦があり、12人の方を新たに登録できた。しかし農業分野など、登録が少ない分野があるため、重点的に増やしていけるよう、大学や民間等と連携していきたい。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	31
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	男女共同参画に関する研修制度の充実			
担当	人事課			
事業概要	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、障がい者福祉施設での体験研修を実施する。また、出産育児支援説明会を開催する。			
数値目標	研修参加人数400人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、出産育児支援説明会を開催した。 なお、障がい者福祉施設での体験研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	265人		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。
-------	-----------------------------

5. 成果	<p>新型コロナウイルス感染症に配慮し、研修規模を適正化して下記研修及び説明会を実施し、男女共同参画意識の徹底を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新採用職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者対応研修(84人受講)</li> </ul> </li> <li>○採用2年目職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題解決のために(87人受講)</li> </ul> </li> <li>○障がい者雇用に関するインストラクター研修(7人受講)</li> <li>○新任課長研修(障がい者差別解消法研修)(34人受講)</li> <li>○出産育児支援説明会(26人受講)</li> <li>○育児休業復帰支援相談会(27人受講)</li> </ul>
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	32
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進			
担当	人事課			
事業概要	松山市では、一部の小規模な部署を除き、全部署において女性職員を配属している。定期人事異動において女性職員の職域拡大を引き続き実施するとともに、女性職員の管理職登用の促進に努める。			
数値目標	10%以上			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	職務経験を通じたキャリア形成を支援するため、女性職員の職域拡大に努め、補助的・定型的業務に長期間継続して配置しないよう配慮した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	8.8%		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	課長級以上の管理職を担える世代の女性職員の人数が未だ少ない点。
-------	---------------------------------

5. 成果	女性職員自らが意欲アップ、能力アップにチャレンジできる職場環境の構築に繋がった。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	33
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	インターンシップ及び市役所業務説明会等			
担当	人事課			
事業概要	多様な人材を確保するため、インターンシップや業務説明会を通じて、広く学生に対して市行政についての理解を深める機会を提供する。			
数値目標	インターン人数46人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	多様な人材を確保するため、インターンシップでは土木職コースを新たに設定して実施した。また、業務説明会では集合形式及びWEB形式を実施し、広く学生等に対して市行政についての理解を深める機会を提供した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	40人		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。 近年、採用試験の申込者が減少傾向にある職(技術職)に特化した機会を増やす必要がある。
-------	---

5. 成果	インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施し、概ね予定通りの受入人数を達成し、本市の魅力を高め、理解を深める機会を提供することができた。 業務説明会においても、新型コロナウイルス感染症対策として、1回の人数制限を行う中、実施回数を増やす等し、例年と同程度の参加者に参加いただけた。また、新たな試みとしてオンライン相談会を実施し、業務説明会に参加できない方への機会の創設を行った。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	34
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画			
担当	人事課			
事業概要	女性活躍推進法に基づいた特定事業主行動計画を策定し、女性職員の活躍推進に向けた取り組みを行う。行動計画に沿って取り組むことで、女性職員だけでなく、男性職員にとっても働きやすく、働き甲斐のある職場環境の構築を目指し、組織力の強化を図る。家庭との両立、昇任への不安などを抱える女性職員については先輩職員を含めた交流会を行い、アドバイスをもらいながら、働き方やワーク・ライフ・バランス、キャリアアップについて一緒に考えるなど、個々のキャリア形成を支援する。			
数値目標	—			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	前年度まで実施していた職員交流会を母体として、令和2年度は新たに働き方改革プロジェクトチームを立ち上げ、性別・年齢・職階を問わず、15名の職員が参加し、新たな施策を提案した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—		一点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点		
-----------------------	----	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後はさらに幅広い職員の声を取り入れる必要がある。		
-------	---------------------------	--	--

5. 成果	提案のあった施策については、可能なものから実現に向けて進めており、様々な性別・年齢の職員の意見を取り入れ、働きやすく、働き甲斐のある職場環境づくりの構築に繋げることができている。		
-------	---	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	35
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	女性の活躍推進(ジョカツ)			
担当	男女共同参画推進センター・市民生活課			
事業概要	各方面で活躍する女性リーダーの育成及びネットワークづくりを行うとともに、ロールモデルや取り組みを紹介するなど女性の活躍推進(ジョカツ)の機運醸成を図る。			
数値目標	ジョカツ関連講座等の開催1回/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	「自分らしく生きること」「自分ができることを仕事に」をテーマとして、好きなことや得意なことを活かして、仕事を作り出している女性の方のお話を聞く。 特に 大学生や若い世代の女性の方に参加いただき、これからの働き方や生き方の参考になるような講座を開催。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・参加者同士の交流が図りにくかったため、今後の検討材料 ・時間配分など、運営の見直しが必要
-------	--

5. 成果	・幅広い年代の方が参加し、「自分らしく、やりたいこと」をやるために、考えるきっかけづくりとすることができた。
-------	--



主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	36
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	人材育成に関する講座			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画について基本的な知識を有し、家庭・地域・職場など様々な場で、男女共同参画の視点を持って活動することができる人材を育成するために、連続講座を開催する。			
数値目標	参加人数350人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座では、ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師として招き開催。</li> <li>・連続講座では、DV、地域防災等をテーマに、基礎から学ぶ「学びなおし講座」を開催。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	90名		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、講座への集客が困難になり、中止や資料配布のみとなったものがあった。</li> <li>・今後も集合形式での実施が困難になることを想定した事業運営が必要。</li> </ul>
-------	---

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの実施、講座の中止など困難な場面がある中、可能な限りの参加者を集めることができた。</li> <li>・コロナ禍で先が見通せない、不安が多い中で、若い世代の人生設計に寄与することができた。</li> </ul>
-------	---



主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	37
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(消費生活モニター)			
担当	市民生活課			
事業概要	商品の試売調査、実習、学習会を行い、地域のリーダーとして消費生活の向上改善に協力する消費生活モニターを育成する。			
数値目標	会議開催回数6回			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	まつやまRe・再来館の見学、「食品の表示について」「消費者力を身につけるために」「ウソつき広告にご注意」の学習会を開催した。令和2年度のモニター数10名。会議開催回数目標6回に対し、4回実施。新型コロナウイルス感染拡大に伴い2回開催中止。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	4回		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	消費生活モニターは、事業開始から50年が経過し、SNSが普及するなど、消費者の情報収集の方法が大きく変わり、日中の学習会に参加できる層も減少するなどして、応募者が減っていることから、当モニター制度の役割は一定、終えたと判断され、令和2年度で事業を終了とする。今後は、消費生活を取り巻く環境の変化に呼応した消費者教室や啓発を効果的に展開していく。
-------	--

5. 成果	消費生活モニターは、消費生活に関心のある市民を対象としており、2年任期で、10名育成した。(これまでの消費生活モニターは、延べ約900名)
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	38(76)	(76)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大			
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成			
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)				
担当	地域消防推進課				
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。				
数値目標	実施地区37地区				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	自主防災組織や消防団等と連携した防火・防災訓練等、多様な内容の地区研修会を39地区で実施した。令和2年度の新規事業として、役員1名が「防災士」の資格を取得するとともに、非常食を簡単においしくアレンジする防災クッキングを開催した。また、地区内の幼稚園・保育園に出向き、防災かみしばいや防災ダック教室を開き、1458名の園児に火の恐ろしさや地震発生時の対処法を指導した。そのほか、秋季・春季火災予防運動や年末防火広報等の防火・防災に関する啓発活動を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	39地区		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	活動してもらえるクラブ員数を増やし、多くの市民にその活動を知ってもらう必要がある。そのため、新規事業としてお城下マルシェ花園での飲食物販売を通してのPR活動を予定している。また、さらに活発な意見交換を行うため、各地区の取り組みを紹介する役員発表を今年度より実施する予定である。
-------	--

5. 成果	地区研修会や防火・防災の啓発活動を通じて、女性の積極的な市民活動への参加を促すことができた。また、「防災士」の資格取得や活発に意見交換をすることにより、女性リーダーの育成に繋がることが期待できる。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	39(90)	(90)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大			
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進			
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供				
担当	男女共同参画推進センター				
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。				
数値目標	参加人数400人				

【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	幅広い層に関心をもってもらえるよう女性、男性、親子等対象をさまざまに設定し、ワーク・ライフ・バランスをめざす生き方・働き方や、地域防災分野での男女共同参画等、多彩なテーマで講座を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数398人	4点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・新型コロナウイルスの影響により中止になった講座や、収録のみになった講座などがあり、今後の講座の実施方法など、検討が必要である。
-------	--

5. 成果	・新型コロナウイルスの影響により集客できなかった講座などもあったが、講師や学校などの協力を得て、多くの受講者を獲得することができた。 ・様々な分野での講座を開催することができ、色々な角度での男女共同参画を考える機会を持つことができた。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	40
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	地域における男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	各催事等に出展したり、女性の様々な生き方や男女共同参画の視点で作られた映像作品を上映したり、男女共同参画や女性の能力活用について意識啓発を行う。			
数値目標	周知回数7回			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<p>県民大会、まつやまSDGsフェアといった県/市主催の催事に参加し、パネル展示など意識啓発に努めた。映画上映会では、女性の人権や生き方をテーマに、令和2年9月に亡くなった元アメリカの最高裁判事 ルース・ベータ・ギンズバーグ氏を主人公とした映画を上映し、男女共同参画について理解を深める機会を提供した。また、映画祭には、夫婦の生き方を描いた作品を上映し、併せてリモートで講師をお招きし、映画に関連した内容の講演を実施した。</p>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	4回		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年参加している催事(2回)が中止になったことで、センター外でのパネル展示の機会が減少した。 また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、6月の映画上映会は中止とした。</p>
-------	---

5. 成果	<p>催事の出展により、当センターの取り組みを知らなかった方へ向けとも周知を図ることができた(2回)。感染予防の対策を講じながら映画上映会/映画祭を実施し、コロナ禍の中でも安心して映画を鑑賞し男女共同参画について学んでいただくことができた(2回)。</p>
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	41
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	まつやま農業者セミナー			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。			
数値目標	参加人数(累計)90人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	農業者と行政や各関係機関で他市町の農業への取り組みを視察し、意見交換会を行う予定であったが、新型コロナウイルス対策として、中止となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		点
-----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	42
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-3	地域活動への参加促進		
事業名	地域のまちづくりへの女性参画促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、地域のまちづくりに関する話し合いや取り組みを行っている。今後、地域のまちづくりを一層充実したものにしていくためには、さらなる女性の参画が不可欠である。地域のまちづくりを支援する観点から、各地域で女性が参画しやすい環境づくりに取り組む。			
数値目標	啓発と女子会開催支援2回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響から、毎年開催している「まちづくり女子会」を開催することができなかったが、まちかど講座としてオンライン講座を行い女性にも多く参画していただいた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)			2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)			5点
-----------------------	--	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	オンライン講習でも女性の参画率を上げることが課題である。
-------	------------------------------

5. 成果	まちづくり女子会は中止となったが、オンライン講座を開催し多くの女性に参画いただき情報交換ができたことは収穫であった。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	43
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-4	地域で活動する団体等の支援・連携促進		
事業名	市民活動団体等に対する支援・連携促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	市内全域において公益活動を行っている、NPO等市民活動各団体に対し、支援を行い、連携を促進する。			
数値目標	周知啓発1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	NPOサポートセンターで2回開催したプチ起業セミナーにおいて、講師に積極的に女性を採用するほか、講座のパンフレットにも女性の市民活動への参加を連想させる工夫を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)	周知啓発2回/年		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	セミナー参加者を増やし、更なる周知啓発に繋げていく工夫が必要である。
-------	------------------------------------

5. 成果	NPOなどの起業や活動を通じて、女性の積極的な市民活動への参加を促したほか、起業することで中心的な役割を担うことに繋がることが期待できると考えている。
-------	---



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	44(25)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-1	男性中心型労働慣行の見直し		
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。			
数値目標	参加人数45人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事やプライベートの充実をはかることを目的とし、3回講座「男のスキルアップ講座」を開催した。</li> <li>・女性に比べ講座に出向く企画が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう、今年度は幅広い層に沿う講座を企画した。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)	51名(3回合計)		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理講座などは、単発ではなく、継続性があっても良いのではないか。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染防止の観点から、料理講座の際、調理後の試食の是非について、再考が必要。</li> </ul>
-------	---

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が生き生きと受講しており、男性の家事参加への意識向上に寄与している。</li> <li>・目標を上回る参加者を獲得でき、コロナ禍で困難な中、想定通りの事業が実施できた。</li> </ul>
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	45
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	男女雇用機会均等法の周知・啓発			
担当	地域経済課			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女雇用機会均等法に関する周知を「未・来Jobまつやま」のセミナー等における参加者に対して行う。</li> <li>・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。</li> <li>・労働局の均等法に係る啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。</li> </ul>			
数値目標	セミナー参加社数150社(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	松山しごと創造センター(旧未・来Jobまつやま)において、男女雇用機会均等法等の内容を含む働き方セミナー実施を計画した。また、均等法に係る啓発用チラシ等を松山しごと創造センター及び課内設置した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	令和2年9月より松山しごと創造センターと県の就労支援施設である愛workとが同施設に移転し、就労部分は愛workが担うため、雇用関連の啓発や相談・案内を県市連携で実施していく必要がある。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は企業向けセミナーの実施ができなかったが、男女雇用機会均等法に関する周知は一定程度図れたと考える。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	46
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座			
担当	人権啓発課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に年6回の研修を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標	セミナー参加社数150社(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	企業内人権教育担当者研修講座(2回)と企業向け人権教養成講座(2回)を行った。 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により一部中止あり】		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	セミナー参加社数39社(累計)		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症予防のため事業を一部中止した。次回は、新型コロナウイルス感染症の拡大しない時期に開催する。今後も性別等に捉われず、参加を広く呼びかける。
-------	--

5. 成果	本講座を実施することにより、企業の研修にも様々な人権課題のテーマで実施されている。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	47
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	企業が、子育て世代の仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な人材の活用を進め、効率的で生産性の高い職場を実現できるように、企業を対象とした講座やワークショップを行い、ワーク・ライフ・バランスの積極的推進について呼びかける。			
数値目標	企業等への講師派遣回数7回			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・企業等からの希望に応える形で講師を派遣する出張講座を行い管理職、一般職に向けて実施		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	6回		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、規模の縮小やなどの必要や、依頼者側からのキャンセルがあった。今後の運営方法について、検討が必要である。
-------	--

5. 成果	・出張講座として6回派遣を行い、管理職、一般職に向けて実施し、309名の参加があった。 ・女性の働き方を考える講座では、2人の女性リーダーを招き、仕事と家事の両立や、自分らしい生き方など、意識啓発に大きく寄与できた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	48
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	ワーク・ライフ・バランスや女性の登用・職域拡大等、女性の活躍推進に積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。			
数値目標	認証企業数80社			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証企業のホームページやフェイスブック等で取り組み状況の紹介、会議室の減免など</li> <li>・既に認証済みの企業からの紹介等により、申請しやすい環境づくりに努めた。</li> <li>・継続して認証を希望する場合は、特に手続きすることなく自動継続できるようにして、認証済み企業の負担にならないよう努めた。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)	認証企業数84社		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業向けの講座、イベントには、宣言企業の方が多く参加していただいているが、企業との連携、交流がまだまだ足りないため、今後は交流会等工夫をこらした事業を考える必要がある。</li> </ul>
-------	---

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続を含め、84社を認証(令和元年度は80社)</li> </ul>
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	49
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	まどんな応援企業の周知啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。			
数値目標	若年層への周知回数 1回／年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・認証企業のホームページやフェイスブック等で取り組み状況の紹介		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知啓発1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		3点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	・主にイクボス、ひめボス宣言と同じ内容となっているため、目新しさが無い。両宣言との差別化が可能かどうか。
-------	--

5. 成果	・認証企業数84社(令和元年度は80社)をコムズホームページ等で紹介
-------	------------------------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	50
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行い、必要性やメリット等について周知を行う。			
数値目標	参加人数100人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い層に関心をもってもらえるよう女性、男性、親子対象等、さまざまな講座を企画した。</li> <li>・人数を制限するなど、工夫して講座を実施した。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数151人		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの人を集めることができない中で、どのような形で講座を実施することができるのか、検討が必要。</li> </ul>
-------	--

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性、男性講座においては、家事やプライベートの充実をはかることを目的とし、講座を開催。</li> </ul>
-------	--



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	51
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	メンターの育成			
担当	市民生活課			
事業概要	実施計画の事業を担当する課の若手職員で構成される「ワーキング・グループ」メンバー自らが実践者(ロールモデル)となり、また、将来の良き助言者・指導者(メンター)となれるよう男女共同参画に関する学習機会を提供する。			
数値目標	会議開催1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	令和3年1月に、市内ワーキンググループ研修を実施。女性と防災の会の小國恵子氏を講師に迎え、自治体職員が知っておくべき、避難所開設時での男女共同参画の視点などをお話いただいた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	本来ならばグループワークなどを通してより実践的な学びができるはずであったが、コロナ禍であるためできず、話を聞くことが中心の研修となった。また、アンケートを取らなかったが、受講者対象に取ることは可能であるため、来年度から検討したい。
-------	---

5. 成果	研修受講者は、災害時に起こり得るジェンダーの問題について真剣に考える姿が見受けられ、活発な意見が出た。他者の意見を聞くことによって、自身では思いつかなかった「気づき」を得た受講者も多く、大変有意義な研修であったと思う。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	52(82)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	若年層への周知回数 1回/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師として招き、学生を対象に講座を開催した。(新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした)</li> <li>・女性の活躍促進に積極的に取り組んでいる企業との交流会を実施。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数 1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学生を対象とする予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、実施大学の学生のみを対象に変更した。</li> <li>・新型コロナウイルスの終息が見通せない中、どのように事業を実施するか検討が必要。</li> </ul>
-------	--

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・76名の学生が参加</li> <li>・仕事と家庭の両立など、自分の思い描く人生設計を考える機会を提供した。</li> </ul>
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	53
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	家族経営協定の推進			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	農業の担い手である女性の役割分担の認識を図るとともに、男女のお互いがパートナーであることを尊重しあうために、家庭内の役割を分担し、労働時間、家族行事等の協定(家族経営協定)の締結を推進する。			
数値目標	締結数(累計)30件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・家族経営協定締結数 10件【累計締結数 246件】		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	10件	2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症対策で人の集まりに制限がある中、農業者が農業に対して意欲や能力を発揮できる環境整備のひとつとして、広く周知していく方法等を検討していく。
-------	--

5. 成果	家族経営協定締結者数は昨年度比200%で、多くの農業者の支援を行えた。
-------	-------------------------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	54
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金			
担当	農水振興課(農業指導センター)			
事業概要	農村の女性が健康で充実した農業・農村生活の担い手となり、農業知識や技術の習得と消費者との交流などで情報交換に努め、地域農業・農村の維持・発展と地域活性化を図るため、「松山市農村生活研究グループ連絡協議会」へ補助金を交付する。			
数値目標	イベントでの活動紹介回数1回/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	役員会の開催3回、研修会や会員同士の交流会3回、郷土料理の伝承事業2回など、農村の女性の知識向上や、消費者との交流、学生への技術伝承など様々な活動を通して、農村女性の活躍推進を図った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	100%	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	協議会員が高齢化し、さらに、新規会員の確保が難しいことから、イベントへの参加回数が確保できにくい。
-------	---

5. 成果	研修会では、農家として役立つ野菜の基礎知識を、夏野菜及び秋野菜について学び、収穫物を家庭の食卓に出すことで、野菜知識の家庭内共有が図られた。また、郷土料理の伝承では、料理人を目指す学生に実習を通して交流をすることで、農村における女性の役割や料理の奥深さを学生に伝えることができた。また、地域の特産物の収穫体験や収穫物を利用した料理を子育て世帯に教えることで、消費者の家庭に地域の郷土料理などの普及が図れた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	55
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	次世代農業者サポート事業			
担当	農水振興課			
事業概要	JA等による新規就農者の受入体制の整備から、就農準備研修、就農後の定着促進といった、幅広い取組に対し補助金を交付して支援することで、新規就農希望者が直面する農業への参入障壁を撤廃するとともに、本市の農業の持続的な発展に必要な次世代の農業者を育成する。			
数値目標	認定新規就農者の女性割合15%以上			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度 の取組内容	JA等による新規就農者の受入体制の整備として研修生の家賃補助を行ったり、就農に向けた技術研修費・研修圃場の農業機械・施設の整備支援、独身就農者に向けた婚活支援等を実施。今年度就農準備研修に参加した研修生は19名、新規就農者で機械や設備等の導入補助を受けたのは25名であった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)	19.0%	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	2点		
-----------------------	----	--	--

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新規就農する女性の割合は男性に比べて低い状況である。 新規就農した女性農家に男女共同参画を配慮した取組が行えているかの簡単な聞き取りを行う等適宜振り返りを実施する必要がある。
-------	--

5. 成果	JA等が開催する就農相談会の支援を行っており、今年度については新型コロナウイルス感染防止の観点から大阪・東京での活動は実施できなかったが、リモートにて就農相談会を開催。また、就農準備研修の女性受講者はH29・30年度は2名、H31年度は3名、令和2年度は5名と徐々に増加しており、認定新規就農者となった女性割合も目標の15%以上を達成し、将来の担い手となる若い女性農家の確保・支援を行うことができた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	56
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-1	職業能力の開発支援		
事業名	松山市人材育成事業補助金事業			
担当	地域経済課			
事業概要	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的として研修等を受講する際に、その費用の一部を補助する。			
数値目標	研修等参加人数1,200人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の実績内容	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的に研修等を受講する際に、受講料等の一部を補助した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	548人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	制度開始当初と比較すると人材育成のあり方も変わってきているため、時世にあった制度運用を検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスの影響で中止になる研修もあったが、申請件数は例年並みであった。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	57
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の起業支援			
担当	地域経済課			
事業概要	未・来(ミラクル)Jobまつやまで、女性を対象とした起業の個別相談やセミナーを実施し、総合戦略に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の数値目標でもある事業所の増加や雇用の促進に繋げる。			
数値目標	創業者数(実数)39人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催し、創業者向けの支援を行った。また、女性の事業者同士が交流できるイベントを開催し、女性の起業において機会創出を図った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	26人		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後も個別相談や創業向けのセミナー開催を通じて創業支援を行っていきたい。
-------	--------------------------------------

5. 成果	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催するなど、創業者向けの支援を行い、創業者の創出に寄与した。
-------	---



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	58
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	松山市テレワーク在宅就労の促進			
担当	地域経済課			
事業概要	<p>テレワークによる在宅就労者として障害者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進する。</p> <p>※テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方を言う。</p>			
数値目標	市内テレワーカー数750人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<p>テレワークによる在宅就労者としてひとり親家庭の親や障がい者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進した。</p>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	752人		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		3点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	<p>コロナ禍によって、テレワークへの関心が高まる中、さらなる多様な人材の活用や働き方が求められている。</p>
-------	--

5. 成果	<p>本事業の実施により、これまでに250名以上の雇用創出や市外企業からの市内指定事業所に発注した金額が3.8億円を超えており、外貨獲得につながっている。</p> <p>本事業テレワーク推進のための自治体独自の取り組みを進めている事例として厚生労働省や総務省(四国総合通信局)にも取り上げられるなど、全国的にも珍しい本市独自の取り組み。</p>
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	59
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の再就職支援			
担当	地域経済課			
事業概要	結婚や出産、育児などで離職し、再就職に対して様々な不安を抱えている女性の労働参加及び掘り起こしに向けて、求職者と企業の両面から女性の活躍促進に取り組む。			
数値目標	就職者60名(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	女性求職者を対象に、Word・Excel等パソコンスキルの基礎や、家庭との両立ができるような働き方を学べるセミナーを実施した。また、子育てママのお仕事相談として、市内の8児童館・センターに就労支援員を派遣して、託児付きの相談窓口を設置した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	25名		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	令和2年9月より松山しごと創造センターと県の就労支援施設である愛workとが同施設に移転し、就労部分は愛workが担うため、女性の再就職支援を県市連携で実施していく必要がある。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していたセミナーの一部は中止を余儀なくされたが、出張相談は電話・オンライン窓口を開設したことで概ね計画通り実施できた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	60
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	高齢者雇用対策事業			
担当	地域経済課			
事業概要	働く意欲と能力のある高齢者が働き続けられるよう支援するとともに、中小企業の人材確保を支援していくため、松山シルバー人材センターで高齢者就労の総合相談支援を行う。			
数値目標	相談者のうち常用雇用への就労に繋がった人数135人(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	高齢者に対する「高年齢者就労総合相談窓口」を開設し、働く意欲と能力のある高齢者がその能力を発揮して働き続けられるよう、従来の臨時かつ短期の就業だけでなく、常用雇用も含めた求人開拓から相談、求職者と事業者のニーズに応じたマッチング支援に至るまでの効果的な相談支援を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	25人		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、自粛ムードや事業所訪問の制約を受ける状況が続き、これまでの求人開拓の有り方を再検討する必要性が出てきた。
-------	---

5. 成果	求職者支援においては、求職者の適正と希望に応じた働き方・就業を支援し、総合的就労相談窓口として就業支援を実施できた。求人開拓においては、他業種へのアプローチ及びシルバー派遣事業との情報共有により、求人開拓の効率化を図り、幅広い分野・職種の求人を開拓できた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	61
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児)、外国人等への支援充実		
事業名	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理			
担当	高齢福祉課			
事業概要	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、平成30年度から令和2年度までの3年間を一期とした高齢者福祉事業や介護保険事業の円滑な実施に関する事業計画である「松山市高齢者福祉計画」の策定及び進捗管理を行う。			
数値目標	計画に基づく福祉施設建設(広域型特別養護老人ホーム等6施設)の工期内完成			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和3年度から令和5年度までの3年間を一期とした高齢者福祉事業や介護保険事業の円滑な実施に関する事業計画である「松山市高齢者福祉計画」の策定を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	計画していた6施設全てが完成した。	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	特になし
-------	------

5. 成果	「松山市高齢者福祉計画」に基づき、計画したすべての施設が完成し、開設したことにより、待機者の解消が図られた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	62
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児)、外国人等への支援充実		
事業名	「松山市障害福祉計画」の進捗管理			
担当	障がい福祉課			
事業概要	障がい者の自立と社会参加のため、障害福祉サービスの提供体制の確保等に関する計画である「松山市障害福祉計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	福祉施設入所者の地域生活移行41人(平成30年～32年度の目標数値) 福祉施設利用者の一般就労移行80人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	平成30年3月に策定された松山市第5期障害福祉計画・松山市第1期障害児福祉計画に基づき、障がい者の地域移行や一般就労への移行など、障がい者の自立と社会参加を目指した各種取組を実施した。また、令和3年3月、松山市第6期障害福祉計画・松山市第2期障害児福祉計画を策定し、令和3年度から令和5年度までの3か年の達成目標を定めた。策定にあたっては、障がい者ニーズ調査(県市が連携して実施)や、障がい者団体等の書面ヒアリング、障害福祉サービス等の事業を実施する法人に対する書面ヒアリングを実施したほか、松山市障がい者総合支援協議会や、計画策定検討会に意見を聴取した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	福祉施設入所者の地域生活移行13人 福祉施設利用者の一般就労移行58人	2点 3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	国庫補助を活用し、施設入所者の地域生活の受け皿となるグループホーム建設を補助しているが、施設入所者の高齢化や、重度の障がい者が利用できるグループホームの整備が進んでいないため、地域生活への移行は進んでいない。 福祉施設の利用者の一般就労への移行については、令和元年度までは順調に実績を伸ばしていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一般就労への移行の目標を達成できなかった。
-------	---

5. 成果	松山市第5期障害福祉計画の計画期間である平成30年度から令和2年度までの3年間で、12人の福祉施設入所者が地域移行を行い、194人の福祉施設利用者が一般就労に移行することができた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	63(28)
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児),外国人等への支援充実		
事業名	国際性豊かな人づくり【再掲】			
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)			
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※(公財)松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。			
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加人数100人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		点
----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受入れることができる人材を育成する。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。
-------	---



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	64
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	市民からの各種相談への対応			
担当	市民生活課			
事業概要	弁護士やファイナンシャルプランナーによる、多重債務相談を実施し、多重債務者の生活再建を支援する(ファイナンシャルプランナー相談は第1・3火曜日、弁護士相談は第1～4水曜日に実施)。			
数値目標	相談件数50件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	多重債務相談や生活再建に向けた家計管理についての相談を、専門の弁護士やファイナンシャルプランナーを招聘し、実施。(令和2年度 弁護士相談8件、ファイナンシャルプランナー1件)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	9件	1点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点		
----------------------	----	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	相談件数が減少しているのは、多重債務等で生活上の困難に直面する市民が少なくなったためと考えるが、今後も継続して周知に努める。
-------	--

5. 成果	市民からの各種相談に対応することができた。
-------	-----------------------



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	65
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	若者の正社員化及び就労訓練			
担当	地域経済課			
事業概要	雇用情勢は改善しているが、若年者を取り巻く雇用環境は依然として厳しく、非正規雇用のままで年齢を重ね、本来正社員として習得すべきキャリアが形成されていない若者が増えてきていることから、公共職業訓練校の受講生に対し、日額(交付要綱で定める)に通学日数を乗じた金額を職業訓練奨励金として支給し、経済的支援を行う。また、その認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所を対象に雇用の奨励金を支給する。			
数値目標	訓練奨励金認定者の正規雇用者数43人(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響によって、非正規雇用の失業が懸念されることから、その中でも再就職の間口が狭い氷河期世代を支援するため、既存の職業訓練奨励金の年齢要件を40歳未満から45歳未満に拡充した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	13人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によるハローワークへの出控えや公共職業訓練校自体の休講、それ以前は雇用情勢の改善によって、ここ近年は職業訓練生が減少しており、実績が伸びなかった。
-------	--

5. 成果	年齢要件を拡充したことにより、氷河期世代を含む訓練生の再就職支援に繋がった。訓練奨励金認定者数は目標に届かなかったものの、正規雇用奨励金については例年並みの認定社数であったことから、訓練修了生の正規雇用に繋がる支援が行えていると考える。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	66
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭や寡婦が様々な活動に積極的に参加でき、ともに支えあい、自ら安定した生活を営み、子どもたちが健やかに成長できるよう、各種支援策をまとめた総合的な計画である「ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	—			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	担当課に進捗状況を確認し、松山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に評価をしてもらい、評価結果を松山市ホームページで公表した。この評価で各事業の改善点等が明らかになり、更なる支援の充実につながる足掛かりとなった。また、「第2期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」(5か年計画)の最終年度にあたることに伴い、実態調査等による基礎データなどを基に、第3期計画を策定した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—		一点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	ひとり親家庭を取り巻く環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。
-------	--

5. 成果	「第2期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗状況などをふまえた上で、「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」を策定した。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	67
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理			
担当	保育・幼稚園課、子育て支援課			
事業概要	既存の幼稚園からの認定こども園への移行や、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児の受入れを強化する「待機児童対策・保育の質向上事業」及び、保育・幼稚園相談窓口で利用者支援を行うことなどにより、多様な保育サービスを提供し待機児童の解消に取り組む。 また、これらを含めた「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うことで進捗管理を行う。			
数値目標	保育所等利用待機児童数0			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	子ども・子育て会議委員による「子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行った。「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、令和2年4月1日時点で前年と比べて205名分増の、市内合計8,358人分の保育定員を確保した。また、平成30年度から導入した、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児を定員以上受け入れた際の助成制度や、年度途中で育児休業する場合の入園予約制度の実施などにより待機児童解消に向けソフト面の充実を図った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	25人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	社会経済環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。全国的に保育の担い手である保育士の確保が厳しくなっていることから、継続就労のため新任保育士向けの職場定着研修を実施するなどの取組を行っている。また、令和3年度からは、使用済み紙おむつの処分費用を助成し、保護者に加え保育士の負担軽減を図ることで、保育士の確保を支援していく。
-------	---

5. 成果	「子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになり、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の事業実施につながった。 また、年度途中で育休復帰する場合、保育の優先度が高いにも関わらず、入所できない場合が多く、やむを得ず育休取得期間を短縮し、最も入所しやすい4月に入所申込を行うケースがあったが、入所予約制度の導入によって、安心して育休を取得していただくことにつながっている。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	68
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】			
担当	男女共同参画推進センター・子育て支援課			
事業概要	子育て援助活動支援事業は、子育てについて、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(保護者にかわり保育園の送り迎え等を行う等)が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数7,776件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度 の取組内容	制度普及を図るため、会員募集広告にて事業周知を行い新規会員の増加に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	活動件数4,489件	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点		
-----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	核家族の増加や地域とのつながりの希薄化などを背景に、育児不安を抱えながら地域から孤立した子育て家庭が増えており、こうした育児不安の解消に、地域が持つ子どもを育てる力に大きな期待が寄せられており、今後さらに会員数の増加を図る必要がある。
-------	---

5. 成果	令和2年度は新規の依頼会員が92人、提供会員が6人であった。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼会員は利用を控えるケースが見られたこと、提供会員は新規会員登録のための講習会が一部出来なかったことが影響し例年と比べ少なかったものと思われる。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	69
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育てに関する情報の発信			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育てに関する情報(保育園や幼稚園、認定こども園等の情報等)を収集し、子育て情報サイトや冊子で情報発信する。			
数値目標	累計アクセス数219,249件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	就学前の子どもがいる家庭を対象にした冊子「まつやま子育て応援ブック まつトコ2020」(発行元はNPO法人子育てネットワークえひめ)を9月に9千部発行した。また、赤ちゃんセットへの同封、支所、児童館等で配布を行った。 子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」の運営管理を継続し、子育てに関する情報を掲載した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	累計アクセス数136,561件	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		3点
----------------------	--	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について、累計アクセス数が目標の数値を達成できなかった。今後も子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」を広く周知していく必要がある。
-------	--

5. 成果	まつトコの発行により子育て家庭に子育てに関する情報を発信できた。 子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について、累計アクセス数(ページビュー数)が136,561件であった。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	70
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て家庭の送迎等支援			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て家庭が、子どもの送迎や預かりに利用できるサービス(ファミリー・サポート、イクじい・ばあばママサービス)に利用者補助を行うとともに、サービスの周知を図る。			
数値目標	助成件数7,930件/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	子育て家庭がサービスを利用しやすいように、利用補助を行った。ファミリー・サポート・センター(育児)については、1か月当たり利用時間の2時間30分までを無料とし、イクじい・ばあばママサービスについては、1か月当たり利用時間の5時間までを半額とした。各々の事業実施主体である(公財)男女共同参画推進財団・(公社)松山市シルバー人材センターに補助金を支払い、利用者補助を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	助成件数4,598件/年	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	3点		
----------------------	----	--	--

		チェック欄	
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	サービスを知ってもらうだけでなく、よりわかりやすく伝えられるよう周知内容を検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	令和2年度の助成件数は4,598件で、子育て家庭が子どもの送迎や預かりサービスを利用する際の金銭的負担軽減に貢献した。
-------	---



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	71
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ファミリー・サポート・センター(介護)			
担当	高齢福祉課			
事業概要	ファミリー・サポート(介護)は、介護について、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(食事の準備や後片づけ、部屋の掃除や衣類の洗濯、留守見守りや話し相手)が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数6,700件			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	制度普及を図るため、会員募集広告及び提供会員募集の説明会を実施し、事業周知を行い新規会員の増加に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	活動件数3,723件	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点		
----------------------	----	--	--

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	市民がファミリーサポートセンターの援助活動を介護保険制度等の他の制度と併用することで、今後、ますます進展していく高齢社会において介護支援が円滑に行われるように、会員数の増加を図る必要がある。
-------	---

5. 成果	令和2年度は新規の依頼会員が19人、提供会員が8人であった。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼会員は利用を控えるケースが見られたこと、提供会員は新規会員登録のための講習会が一部出来なかったことが影響し例年と比べ少なかったものと思われる。
-------	---



主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	72
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	介護予防と認知症サポーターの養成			
担当	介護保険課			
事業概要	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループを支援するとともに、認知症高齢者やその家族を優しく見守る支援者を養成する。			
数値目標	ふれあい・いきいきサロン参加者120,000人 認知症サポーター養成講座受講者数5,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループへの支援として、ふれあい・いきいきサロンへの支援を行い、延べ43,551人(うち男性2,313人、女性41,238人)が参加した。 認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する取組として、認知症サポーター養成講座を開催し、1,690人(男性782人、女性908人)が受講した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	サロン43,551人、認知症サポーター1,690人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふれあい・いきいきサロンや認知症サポーター養成講座の開催数が減少し、サロン活動者数や認知症サポーター数が減少傾向となっていることが課題である。 また、ふれあい・いきいきサロンの参加者は女性が多くなっているが、男性の参加も増えるよう、引き続き活動を支援する。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響で思うように集まれない時期もあったが、ふれあい・いきいきサロンでは、脳トレーニングのプリントなどの介護予防資料を歩いて取りに行く「てくてくデイ」や従来のサロンよりも活動時間を短くした「ミニサロン」を導入するなど、感染予防に配慮しながら活動することができた。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	73
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-1	避難所運営や仮設住宅での男女共同参画		
事業名	対策本部運営事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害発生時に災害対策本部、災害警戒本部の設置及び運営を円滑に実施し、被害情報の共有や被害対応の迅速化並びに気象情報等の収集、伝達を行い、市民の生命、身体および財産を保護し、被災者等の市民生活の早期安定を図るもの。対策本部運営のため、各担当職員への研修を行う。			
数値目標	避難所担当職員研修1回以上/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	風水害対応図上型防災訓練をはじめ、新型コロナウイルス感染対策に特化した避難所訓練や避難所担当職員研修などの各種研修を予定通り行い、職員の意識向上やレベルアップ、対策本部運営のためのノウハウを習得することができた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	5回以上		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後30年以内に南海トラフ地震が起きる確率70%程度、本市での揺れは最大震度7と想定されており、いかに人的・物的被害を大幅に軽減させることができるのか、日頃からの備えや年齢・性別に捉われず市民への幅広い啓発活動などハード・ソフト面での柔軟な対応が求められる。
-------	---

5. 成果	各種訓練内容をテレビや新聞で取り上げていただき、防災・減災について興味をもっていただき、市民の方々への防災・減災意識の高まりの向上に繋がった。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	74
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	自主防災組織育成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップを図るため、防災研修や講演会、シンポジウムなどを開催するほか、必要なテーマに関する調査・研究を行う。 また、事業を通じて、男女共同参画はもとより、世代・業種・障がい等の多角的な視点を基本とする。			
数値目標	41地区			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響下でも、感染症対策の徹底やオンラインの活用等により、熊本大学の安部美和准教授を招いて防災シンポジウムを開催することができた。 また、女性消防団・女性防災士の皆さんと子育て世代向けの防災ブックを作成したり、そなえる補助金モデル事業選考委員会では選考委員として女性に参画していただいた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	公費女性防災士の配置地区:36地区	4点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの影響で、中止とした研修や講演会もあったため、継続して自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップが促進できるよう様々な工夫を行う必要がある。 また、女性防災士未配置の地区に対しては、引き続き女性の資格取得を進めていく。
-------	---

5. 成果	防災シンポジウムでは、令和2年に豪雨で被災した熊本での新型コロナ禍における避難所運営について自主防災組織や防災士の皆さんと事例を共有できた。 また、子育て世代や大学生などを対象に、様々な視点から防災啓発を推進することができた。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	75
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	松山のひととまちを守る！防災士養成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	公費負担により、自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所への防災士配置を進め、総合的な地域防災力の強化につなげる。また、女性の防災への参画の重要性から、女性防災士の養成に取り組む。			
数値目標	女性防災士の割合(公費負担):20%			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度 の取組内容	愛媛大学と連携して防災士養成講座を実施し、広く防災士資格が取得できる機会を創出した。また公費負担での防災士養成も行い、これまでの自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所に加え、高校生の防災士養成も実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	17.4%	4点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	3点		
----------------------	----	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	女性防災士の割合は年々高くなっているが、決して高い水準とはいえない。災害時には様々な視点からの支援が必要になるため、引き続き女性防災士の養成を進めていく。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスの影響下でも工夫して防災士養成講座を実施し、様々な世代や職域に防災リーダーを育成することができた。 公費負担での防災士資格取得者の累計は2,993人で、内女性防災士は522名となった。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	76(38)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】			
担当	地域消防推進課			
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。			
数値目標	実施地区37地区			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	自主防災組織や消防団等と連携した防火・防災訓練等、多様な内容の地区研修会を39地区で実施した。令和2年度の新規事業として、役員1名が「防災士」資格を取得するとともに、非常食を簡単においしくアレンジする防災クッキングを開催した。地区内の幼稚園・保育園に出向き、防災かみしばいや防災ダック教室を開き、1458名の園児に火の恐ろしさや地震発生時の対処法を指導した。そのほか、秋季・春季火災予防運動や年末防火広報の防火・防災に関する啓発活動を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	39地区		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	活動してもらえるクラブ員数を増やし、多くの市民にその活動を知ってもらう必要がある。そのため、新規事業としてお城下マルシェ花園での飲食物販売を通してのPR活動を予定している。また、さらに活発な意見交換を行うため、各地区の取り組みを紹介する役員発表を今年度より行う予定である。
-------	--

5. 成果	自主防災組織や消防団等と協力し、訓練や研修を行うことで、地域の防災体制の強化に貢献した。また、1名が「防災士」の資格を取得した。そのほか、園児たちへの防災教室等の啓発活動を通じて、市民の防火・防災意識の高揚を図ることに繋がった。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	77
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標	地域防災計画の見直し回数1回／年(必要に応じて)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	水防法に基づく水位周知河川及び水防警報を発令する河川の追加、避難所での新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の追加や国の防災基本計画、愛媛県地域防災計画との整合を図るための地域防災計画の見直しを実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	地域防災計画に、男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインを反映させたが、災害発生時等にガイドラインに基づく取り組みの実施状況や課題を今後、地域防災計画の修正に反映させる必要がある。
-------	---

5. 成果	男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインを地域防災計画に反映させ、災害に関して男女共同参画の重要性を周知することができた。
-------	--



主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	78
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	啓発推進事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	市内の小中学生から防災に関するポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに、各施設にて展示する。防災・減災を市民、地域、行政が共に考える日にするためにイベントを開催する。			
数値目標	防災イベントアンケート回答者200人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	市内の小中学生から443点の応募があり、うち優秀作品25点について表彰及び施設等で展示を行った。優秀作品については松山市総合コミュニティセンターでの「防災シンポジウム」、愛媛県中予地方局、松山三越、市役所本庁ロビー、いよてつ高島屋で展示を行うとともに、広報やHP等にも掲載した。また、東日本大震災から10年が経過したことから、東日本写真展を実施するとともに防災マップや防災グッズ等の展示を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、アンケートを実施予定だったイベントが実施できなかった。次回イベント等を実施する際には性別や年齢に捉われず、幅広い世代の方に来ていただけるような内容になるよう配慮する。
-------	--

5. 成果	防災ポスターについては、小学生の最優秀賞受賞者が新聞に取り上げられた。東日本大震災写真展では、買い物や食事等に立ち寄った学生から家族連れなど、幅広い世代の市民の方に、防災について興味を持っていただいた。また報道資料を出したことにより、多くの報道陣が取材に訪れ、ニュースや新聞で取り上げていただいたため、幅広く周知をすることができた。
-------	--



主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	79
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	みんなの消防フェスタ開催事業			
担当	地域消防推進課			
事業概要	多くの市民に防火・防災について関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする各種団体の横の連携を深めることを目的に、「みんなの消防フェスタ」を開催し、防火・防災啓発を行う。			
数値目標	開催につき1万人の参加者			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	「みんなの消防フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		点
----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	80
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-2	災害用物資の支援		
事業名	災害用物資資機材整備事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	地震等の大規模災害発生時に被災者に対して食料や飲料水、日用品、毛布等の物資を速やかに供給するため、必要物資の備蓄配備を行うとともに、衛生面に配慮し、ウェットティッシュや手指消毒剤なども配備する。また、地域の主要な避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレなどの資機材を、高校・大学へ計画的に配備するとともに、風水害等の水防資機材の整備により被害の軽減を図る。			
数値目標	高校・大学等への資機材配備率100%(29箇所)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	平成28年度から5ヶ年計画に基づき、主要な避難所である市立の中等教育学校・高等学校・大学の14カ所、県立の高等学校・特別支援学校の11カ所、国立大学法人の小中学校・高等学校・大学の4カ所の計29カ所に対しての資機材配布率100%を目標に取り組んでおりました。計画最終年の令和2年度には、残りの配備予定高等学校4カ所に配備が完了し、目標を達成することができました。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	29箇所		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	大規模災害発生時に備え、主要な29カ所の避難所において、未配備物資の食糧や日用品、衛生面に配慮した、ウェットティッシュや手指消毒剤などの配備を検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	大規模災害発生時に地域の主要な29カ所の避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレなどの資機材を100%配備することができた。今後においては、それら資機材を有効活用することで、被害の軽減が期待できる。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	81
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内の小・中学校に対して、運営委員会の設置、基礎研修、学級・学年別懇談会の開催を依頼し、教職員及び保護者が人権教育の重要性を認識するとともに主体性を持って事業に取り組むよう意識を啓発することにより、人権感覚豊かな人材の育成に努める(校区别人権教育懇談会)			
数値目標	参加者数114,000人(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	校区别人権教育懇談会を開催し、学習活動実践例を取りまとめた。また、教職員、PTAに、ネット配信にて、松山市人権啓発課指導員による人権学習講座を開催した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加者数56,171人(累計)		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、校区别懇談会は、当初計画の3回の内、2回が開催中止となった。ネット配信による講座を、今後も検討していく。
-------	--

5. 成果	学習活動実践例を取りまとめ記録集として各学校に配布し、人権教育の意識を高めた。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	82(52)
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業(再掲)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	講演会等を通じた若年層への周知回数 1回/年			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師として招き、学生を対象に講座を開催した。(新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした)</li> <li>・女性の活躍促進に積極的に取り組んでいる企業との交流会を実施。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数 1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学生を対象とする予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、実施大学の学生のみを対象に変更した。</li> <li>・新型コロナウイルスの終息が見通せない中、どのように事業を実施するか検討が必要。</li> </ul>
-------	--

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・76名の学生が参加</li> <li>・仕事と家庭の両立など、自分の思い描く人生設計を考える機会を提供した。</li> </ul>
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	83
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	地区人権教育の推進			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権に対する関心を全市域において高めていくためには、地域における学習会の積み重ねが重要であるため、公民館本館や分館などを単位とした人権学習会を実施し、人権を大切にし互いを認め合えるまちづくりを目指す。			
数値目標	開催数870回 参加者数51,000人(累計)			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	地区人権教育推進協議会や公民館事業推進委員会、ふれあいセンターと連携・協力し、公民館本館や分館・集会所などを単位とした小集団学習会を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	開催数132回 参加者数20,593人(累計)		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、可能な範囲で学習会等を行ったが、当初計画の約半分が開催中止となった。今後も、学習会に代わる啓発活動等を引き続き支援する。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学習会の代わりに、人権に関するチラシを作成配布するなどの啓発活動をおこなった。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	84
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権教育研究会の開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	松山市人権教育推進協議会における関係機関・団体等の関係者ほか市民が一堂に会し、研究協議や交流を深める中で、人権に関わる社会問題の解決を市民一人ひとりの課題とし、問題解決に向けて果たすべき役割を確認し合うとともに、実践事例を通して、人権教育・啓発活動の一層の飛躍を図るために、研究会を開催する			
数値目標	参加人数(累計)3,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	令和3年1月に人権教育研究会を規模を縮小し、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		点
----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	85
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権啓発フェスティバルの開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権問題に対する正しい知識や情報を提供することにより、市民一人ひとりの人権意識を高め、相互に人権を守り合うことの大切さを認識し、心豊かな人権尊重社会を築くことを目的として、人権啓発フェスティバルを開催する。当日は人権に関する講演会や人権問題の解決に向けて活動する団体による展示などを複合的に実施する。			
数値目標	(2)参加人数(累計)3,000人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	令和2年12月に人権啓発フェスティバルを規模を縮小し、開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		点
----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--



主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	86
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	キャリア教育の支援			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	親や小中学生を対象に、理系分野に親しんでもらうなどのイベントの開催を行う。			
数値目標	講座参加人数30人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子学生・生徒の理工系分野への進学状況は他の分野と比較して低い状況にあり、女子の理工系分野への関心・理解を高めるために、小学校低学年の女子児童とその保護者を対象に自然科学の分野に触れる講座「親子でトライ～育て！リケジョの卵たち～」を企画したが、新型コロナウイルスの影響により協力大学の判断で中止。</li> </ul>		
2. 数値目標に対する実績と達成度 (0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		3点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により中止とした。</li> <li>講座の実施方法について、大学側との協議が必要。</li> </ul>
-------	--

5. 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により中止。</li> </ul>
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	87
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	子どもから広がるいじめ0ミーティング			
担当	学校教育課			
事業概要	小中学生による「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施し、各学校の児童生徒の代表者や保護者、教員等の参加により多様な意見を交わす機会を拡充するとともに、児童生徒のいじめに対する認識を深め、すすんでいじめをなくそうとする態度と実践力を養う。			
数値目標	各学校において、毎月1回、いじめをなくす取組を実施			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	令和2年12月に「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催も検討したが、残念ながら中止となった。毎月10日「いじめ0の日」には、各学校において、いじめをなくすための取組を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	毎月1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催も検討したが、残念ながら中止となった。今年は開催に向けて、複数の案を考えながら対応したい。
-------	---

5. 成果	毎月10日「いじめ0の日」には、コロナ禍ではあったが、メッセージカードや校内放送を利用した各校独自の取組が実施された。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	88
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-1	生涯学習の推進		
事業名	元気活力支援事業			
担当	地域学習振興課			
事業概要	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指す。			
数値目標	講座・活動開催数2,000回			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	高齢者、成人、女性、子ども等、幅広い地域住民を対象にした「人権問題講座」「健康講座」「防災講座」「料理教室」等を開催した。地域住民が参加しやすい活動の場を提供できた。また、活動の成果を地域に還元し、地元により愛着が持てるきっかけづくりになった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	活動回数 1226回		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		4点
-----------------------	--	----

#### チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	年度始めに地域住民の代表者などどのような活動を行うか計画をしているが、活動終了後に参加者からの聞き取りやアンケート等を行い、公民館を拠点とした魅力ある活動の場を提供できるように地域住民の声を活かしていく必要がある。
-------	---

5. 成果	地域住民が、子どもからお年寄りまで「集い、学び、支え合う」ための生涯学習の機会を提供することで人と人がつながる地域づくりに貢献できた。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	89
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実		
事業名	男女共同参画に関する出張講座の開催			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民対象に男女共同参画推進の意識啓発を図るため、市民グループや企業に対し、男女共同参画に関する出張講座の開催及び講師派遣を行う。			
数値目標	派遣回数25回			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・企業等からの希望に応える形で講師を派遣する出張講座を行い管理職、一般職に向けて実施		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	6回		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、規模の縮小やなどの必要や、依頼者側からのキャンセルがあった。今後の運営方法について、検討が必要である。		
-------	--	--	--

5. 成果	・出張講座として6回派遣を行い、管理職、一般職に向けて実施し、309名の参加があった。 ・女性の働き方を考える講座では、2人の女性リーダーを招き、仕事と家事の両立や、自分らしい生き方など、意識啓発に大きく寄与できた。		
-------	---	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	90(39)
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。			
数値目標	参加人数400人			

### 【令和2年度実績報告】

1. 令和2年度の取組内容	・幅広い層に関心をもってもらえるよう女性、男性、親子等対象をさまざまに設定し、ワーク・ライフ・バランスをめざす生き方・働き方や、地域防災分野での男女共同参画等、多彩なテーマで講座を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数398人		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		5点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	・新型コロナウイルスの影響により中止になった講座や、収録のみになった講座などがあり、今後の講座の実施方法など、検討が必要である。
-------	--

5. 成果	・新型コロナウイルスの影響により集客できなかった講座などもあったが、講師や学校などの協力を得て、多くの受講者を獲得することができた。 ・様々な分野での講座を開催することができ、色々な角度での男女共同参画を考える機会を持つことができた。
-------	--